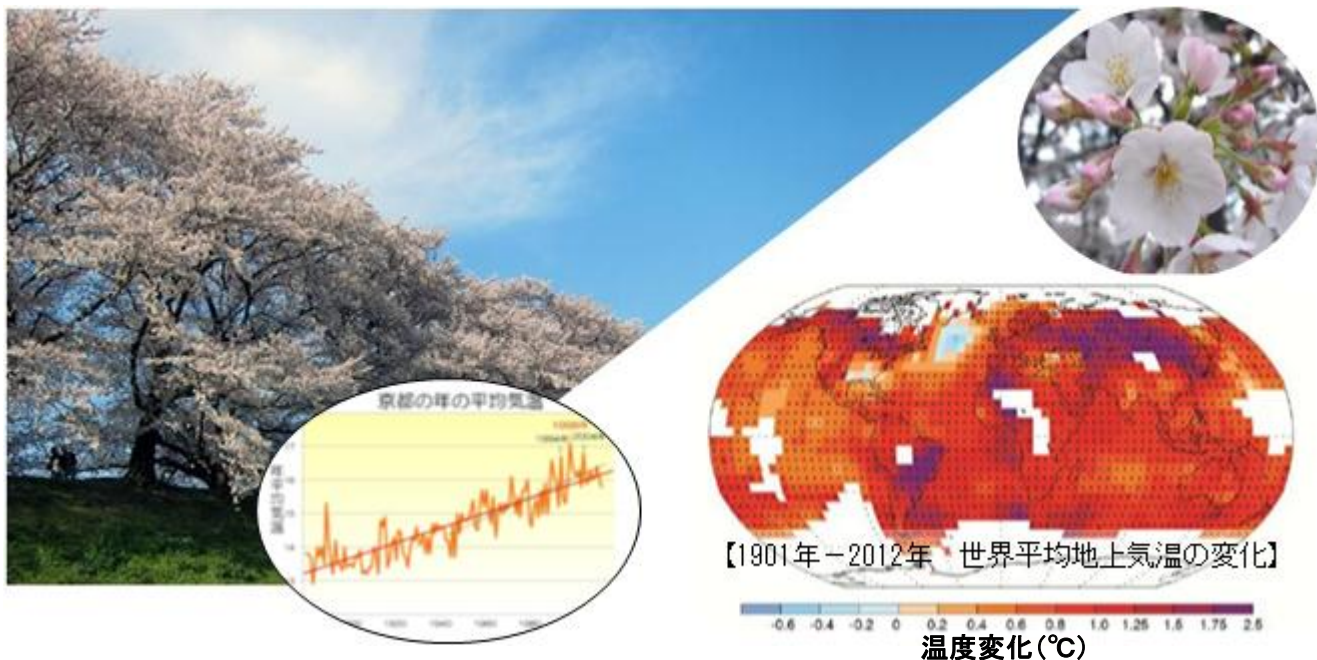


# 【 シンポジウム 】



# 気候変動の 身近な影響と適応策を 考える

～IPCC第38回総会に向けてin京都～



【1901年-2012年 世界平均地上気温の変化】

温度変化(°C)

IPCC第5次評価報告書第1作業部会報告書  
SPM Fig. SPM-1(b)

## 基調講演

総合地球環境学研究所 所長

安成 哲三

京都大学防災研究所 准教授

竹林 洋史

〈敬称略〉

## パネルディスカッション

## 身近で考え行動する 気候変動問題

〈コーディネーター〉

龍谷大学経済学部 現代経済学科 教授

増田 啓子

〈敬称略〉

- 日時： 11月29日 **金** 13:30-15:30 (13:00開場)
- 会場： 国立京都国際会館 (Room D) (京都市左京区宝ヶ池)
- 定員： 100名[参加費無料] (要事前申込み)
- 主催： 環境省
- 共催： 京都府、京都市

# 『環境省主催 京都府・京都市共催シンポジウム』 気候変動の身近な影響と適応策を考える

～IPCC第38回総会に向けて in 京都～

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、9月に第1作業部会報告書（自然科学的根拠）を公表しました。また、来年3月に日本で初めて横浜で開催されるIPCC第38回総会では、第2作業部会報告書（影響・適応・脆弱性）を取りまとめることとなっています※

気候変動による影響と適応についての最新の知見をわかりやすくお伝えし、気候変動による身近な影響と適応策を考えるシンポジウムを開催します。

※ 各国政府による地球温暖化防止政策に科学的基礎を与えるIPCCは、数年おきに評価報告書を発行（第4次評価報告書は2007年に承認）、その作成は3つの作業部会に分かれて行われています。

## 挨拶

環境省、京都府、京都市

## 基調講演

安成 哲三（総合地球環境学研究所 所長）

竹林 洋史（京都大学防災研究所 准教授）

〈敬称略〉



安成 哲三



竹林 洋史

## パネル・ディスカッション

コーディネーター：増田 啓子

パネリスト：（龍谷大学経済学部 現代経済学科 教授）

竹林 洋史（京都大学防災研究所 准教授）

虫鹿 里佳（気象キャスターネットワーク 気象予報士）

木原 浩貴（京都地球温暖化防止府民会議 事務局長）

〈敬称略〉



増田 啓子



木原 浩貴



虫鹿 里佳

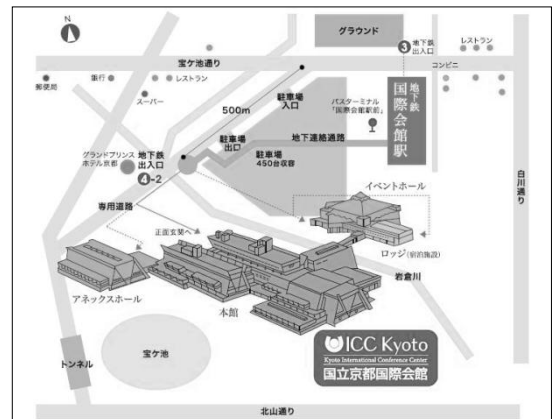
※ プログラムは変更になる場合があります。

- 日時：11月29日（金）13:30-15:30（13:00開場）
- 会場：国立京都国際会館 Room D
- 定員：100名 [参加費無料]（要事前申込み 先着順）

締切 11月27日

定員になりましたら地球・人間環境フォーラムHPにてお知らせいたします。  
<http://www.gef.or.jp/news/index.html>

お問い合わせ先： 京都府地球温暖化対策課：075-414-4708  
京都市地球温暖化対策室：075-222-4555  
シンポジウム運営事務局：03-5825-9735



国立京都国際会館  
京都市左京区宝ヶ池

京都駅から  
地下鉄で20分  
タクシーで約30分  
市営地下鉄烏丸線  
「国際会館駅」から徒歩5分  
（ 改札から地下道を通り、出口4-2  
をご利用ください。）

## 参加お申込み

シンポジウム運営事務局（一般財団法人地球・人間環境フォーラム 担当：瀬戸、天野）

E-mail： [climate@gef.or.jp](mailto:climate@gef.or.jp) / FAX：03-5825-9737

お名前		ふりがな	
ご所属			
ご住所			
TEL		FAX	
E-mail			